

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会

編集 / 広報委員会

平成29年
(2017年)

11月号



8月24日 田辺市議会議員研修会
テーマ：議会からの政策提案と政務活動費
講師：地方議会研究会 代表 野村 稔氏

9月定例会

平成29年度一般会計補正予算などを可決

平成29年9月定例会は、9月5日に開会し、9月28日までの24日間の会期で開催され、「平成29年度一般会計補正予算」など、市長提出議案16件を全て原案のとおり可決しました（うち、人事案件3件〔人権擁護委員候補者の推薦〕については異議なし）。

また、市長専決処分事項など4件の報告を受けたほか、意見書1件を可決しました。

本定例会では、9月14日、15日及び19日の3日間にわたり、13人の議員が一般質問を行いました。

目次

- ・議決結果の一覧……………P 2
- ・一般質問……………P 3～6
- ・議員研修会を開催ほか……………P 6
- ・意見書について……………P 7
- ・12月定例会予定、
議会活動日誌ほか……………P 8

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



QR
コード



議決結果（主なもの）

平成 29 年 9 月定例会

件 名		議決結果
議案第 1 号	田辺市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議案第 2 号	田辺市保育所条例の一部改正について	
議案第 3 号	田辺市営住宅条例の一部改正について	
議案第 4 号	田辺市立幼稚園条例の一部改正について	
議案第 9 号	平成 29 年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	
議案第 10 号	平成 29 年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	
議案第 11 号	平成 29 年度田辺市木材加工事業特別会計補正予算（第 2 号）	
議案第 16 号	平成 29 年度田辺市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決 (賛成多数)
議案第 8 号	平成 29 年度田辺市一般会計補正予算（第 3 号）	
発議第 1 号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について	

賛否が分かれた 議案	議案の可否	紀新会					篤志会				清新会			公明党			日本共産党		くまのクラブ		誠和会	
		尾花功	宮井章	市橋宗行	安達克典	塚寿雄	高田盛行	福榮浩義	松上京子	浅山誠一	橘智史	柳瀬理孝	北田健治	小川浩樹	佐井昭子	出水豊数	久保浩二	川崎五一	前田佳世	安達幸治	陸平輝昭	中本賢治
議案第8号 平成29年度 田辺市一般会計補正予 算（第3号）	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成		賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
発議第1号「全国森林環 境税」の創設に関する意 見書の提出について	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成		賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成

議長（小川浩樹）は議決に加わらないため斜線としています。

一般質問

※編集の方針上、「〜か」「〜だ」といった文体に統一しています。

ごみの回収と家庭ごみについて 二葉昌彦議員

議 市民1人1日当たりのごみ排出量はどれくらいか。また、生ごみ排出時の水きりなど市民意識の向上に向けた取り組みが必要ではないか。

市 市民1人1日当たりのごみ排出量は1,004 gである。生ごみ排出時の水切りの必要性は認識しており、これまでも環境学習会などでお願いしているが、今後も機会をとらえて水分を減らす工夫などの普及啓発に努めたい。

議 大量生産、大量消費、大量廃棄を見直し、ごみを減らすために市民全体で取り組む仕組みづくりを進め、持続可能な社会構築のための人づくりとそのための教育に努められたい。

旧市内の乗り合いタクシー運行について 久保浩二議員

議 4月の選挙で、私は公約として乗り合いタクシーの運行を掲げた。高齢者からは病院や買い物に出かけられるよう、是非、早急に実現してほしいと強い要望があった。現状、高齢女性の免許保有率はどうなっているか。

市 70歳以上の女性の免許保有率は38%である。

議 バス路線が大幅に減少し、旧市内に交通空白地が大きく広がっている。買い物困難者やバス停まで行けない高齢者のために、自宅で乗降できる乗り合いタクシーを運行すべきではないか。

市 導入している類似自治体の事例を調査するなど研究していく。

鳥獣被害対策実施隊の設置について 柳瀬理孝議員

議 近年、農家が自らの畑を守るために狩猟免許を取得するケースがふえてきている。しかし、免許を取得した際にかかる狩猟税・猟友会費といった金銭的負担が足かせとなっている一面がある。そこで狩猟税減免等の優遇がある鳥獣被害対策実施隊を設置してはどうか。

市 鳥獣被害対策実施隊については国も設置を推進しているところであり、狩猟税の減免や鳥獣被害防止総合対策交付金の重点配分といったさまざまなメリットがあることから、今後設置を検討すべき施策だと考えている。

近年の異常気象を起因とした山地災害と森林保全について 宮井 章議員

議 山地災害危険地区、土砂災害危険箇所との現況と山地防災力の強化に資する森林保全について当局の考えは。

市 管内の山地災害危険地区は2,728カ所、土砂災害危険箇所は3,115カ所あり、現況は杉、ヒノキの人工林が多い。山地防災機能の維持向上のため、現況把握と適切な森林整備が必要と考える。

議 市民の皆さんが、その有効性を享受できる身近な森林保全活動を行うことで、林政への理解の輪を広げ、林業への関心が高まると考える。引き続き、関係機関と連携し、現況把握と荒廃森林の解消に取り組まれたい。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

観光まちづくりにおけるユニバーサルデザインについて 松上京子議員

議 世界遺産等を活かしたまちづくりにおいて、神社仏閣のバリアフリー化やユニバーサルデザイン（障害の有無や年齢に関わらず、すべての人に使いやすいよう配慮した環境デザイン）に対する見解はどうか。

市 必要性は認識している。文化財保護や景観に配慮しつつ、今後もユニバーサルデザインの基本コンセプトを取り入れた観光まちづくりを進めたい。

議 今後、町なかの多目的トイレや闘雞神社参道、大福院等の整備においても、当事者の声を反映した計画推進を望む。

文里湾横断道路の整備について 中本賢治議員

議 文里湾横断道路の早期完成に向けて市はどのように取り組むのか。また、事業手法はどうするのか。

市 現在、県事業において起終点の位置を含めた道路概要設計を行っている。事業手法としては、道路事業での整備と都市計画道路での整備がある。田辺地域の骨格になる道路であり、まちづくりを考える上でも重要な地域間道路でもある。事業手法については、県と連携しながら、早期事業化に向けて取り組んでまいりたい。

本市の移住施策について 浅山誠一議員

議 移住希望者に田辺市を選んでいただくためには更なる打ち手が必要と考える。移住相談窓口の拡充や情報発信の強化など新たな取り組みができないか。

市 まちなか移住の担当部を商工観光部とし、地域おこし協力隊を市街地に導入するなど新たな移住者層の受け入れに取り組む。また市域全体の移住促進を図るためには情報ツールの再構築が必要であり、ホームページのリニューアルも検討していく。

議 市域全体で人口減少が進行している中で移住施策は重要な役割だ。選ばれる田辺市になるよう努められたい。

温泉施設の現状と課題・木質バイオマスの利用状況について 安達克典議員

議 チップボイラーの稼動状況はどうか。また、ペレット燃料導入等、専門家による設備診断が必要ではないか。

市 稼働率は、昨年度実績で約39%（4カ所平均）であり、不具合が起こる状況を改善する必要があると認識している。ペレット燃料導入については、燃料費が高くなることや現在のボイラー設備の調整が必要となること等から、今後の稼動状況や原油価格の動向等も踏まえ検討したい。改修、更新等の必要性や専門家による設備診断等も含め、各温泉施設にとって最も良い運営方法について研究を進めたいと考えている。

※**議**は議員からの質問・意見、**市**は市当局の答弁を表しています。

一般質問

※編集の方針上、「さか」の「だ」といった文体に統一しています。

市立幼稚園の3歳児保育について 前田佳世議員

議 乳幼児期には、発達の折々に様々な体験を重ね、生涯にわたる学びの意欲や良好な人間関係、生活の安定につながる「生きる力」を育むことが重要で、心が柔らかな3歳のうちに集団保育を受けることが望まれる。長年切望されている3歳児保育を実施すべきでは。

市 多面的な検討が必要だ。需要や行財政運営を踏まえ実施は難しい状況だが、来年度にニーズ調査を実施し、需要把握に努める。

議 教育費をコストと捉えず、教育の重要性をしっかりと認識し、3歳児保育をまずは新庄幼稚園で実施してはどうか。

市庁舎移転に関する様々な疑義について 川崎五一議員

議 移転候補地の建物撤去費用（約10億円）を市が負担する理由は何か。

市 公共事業の用地取得では、市が負担するのが一般的である。

議 新庁舎は防災対応拠点というが、移転候補地から非浸水想定地域につながるのはどの道路か。

市 あけぼのへつながる道路である。

議 その道路は最小幅員6.4mで両側の住宅の築年数も古い。他の道路はすべて浸水想定地域方面への道路であり災害時に通行が困難になる可能性が高く防災面で致命的だ。透明性を持って候補地選定をやり直すべきだ。

秋津川地区における製炭林の確保について 安達幸治議員

議 紀州備長炭発祥の地を守るためにも、この先、安定した製炭材の確保が必要だと思われるが、市はどのように考えているか。

市 50年、100年先を見据え、原木林の循環利用による安定供給が必要であり、将来にわたる資源確保に努めたい。そのためには、国や県の補助事業を活用し、尾根付近への作業道を開設するのが効果的だと考えており、今後、既設道路からの作業道やモノレール、架線集材による搬出形態を構築できるよう検討してまいりたい。

普通教室へのエアコン設置について 橘 智史議員

議 今年も例年同様に酷暑であったが、学校生活に支障が出ていないか。本市の小・中学校普通教室のエアコン設置率は27.4%である。県内では設置率100%の市町村もふえてきているが、必要性をどのように考えているか。

市 学校環境改善の必要性や学習面の効果等の観点からも、早期に整備計画を構築し、事業に結びつけられるように検討を進めたい。

議 地域や保護者会からの寄附でエアコンを設置した学校については、何らかの措置をしていただき、不公平感のないようにしていただきたい。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

農林水産業（一次産業）活性化の今後の取り組みについて 出水豊数議員

議 自然豊かな本市において、第一次産業の活性化なくして何があるのか。多種多様な地域資源を最大限に活用しながら、自ら現場に行き、膝詰めで成功に向けた協議を行う必要があるのではないか。今後の振興に向けた取り組みは。

市 地方都市は第一次産業が元気でないと地域の活力、活気はあり得ない。本市では農林水産業を重要な柱としており、将来を見据え、さらなる産業力の強化に向け農林水産部門と商工観光部門に再編した。今後、さらに広く積極的に農林水産業の活性化に向け取り組む。

◆平成29年度田辺市議会議員研修会を開催しました

田辺市議会では、例年、議員としての能力向上を図るため、議員研修会を開催しています。今回は、政策提案と政務活動費について研修会を開催しました。

テーマ

議会からの政策提案と政務活動費

講師

地方議会研究会

代表 野村 稔 氏

講演の要旨

議会が監視機能や提言機能を十分発揮することで行政の公平、公正、能率性が確保される。

ただし、税収の増加が見込めない中で、「あれもやれ、これもやれ」というのではなく、施策の優先順位を提言する時代になってきた。議員は個々の施策や事業について専門的な知識を持っている訳ではないが、住民代表として、住民目線で優先順位の提言等をしていくことが求められる。

政務活動費については、全国的な流れとして、不適正使用に重点

をおいた批判が多くなっている。

もちろん、政務活動費を条例・規則に従って適正に使用することは重要であるが、それ以上に政務活動費により得た知見や住民の要望等を本会議や委員会で発言し、執行機関に実行を求めることが重要である。

住民には政務活動費がどのように使われているのかわかりにくい。議会の活動については、議会広報や本会議、委員会での発言等を通して住民に伝えることも大切である。

◆田辺・西牟婁地方の高等学校の適正な定員確保を県教育委員会に要望しました

田辺・西牟婁地方の高等学校校定数等の適正化に向けて、去る7月3日及び6日に田辺市PTA連合会進路指導協議会との勉強会、意見交換会を開催し、全議員による市議会の検討会を設置することとなりました。

その後、8月17日に正副議長、議会運営委員長、文教厚生委員長が和歌山県教育委員会を訪れ、宮下和己教育長に対し田辺西牟婁地方の高等学校の適正な定員確保を要望しました。

◆田辺市自治会連絡協議会との懇談会を開催しました

8月29日、田辺市自治会連絡協議会三役の皆さんとの懇談会を開催しました。

市議会からは正副議長、議会運営委員会正副委員長、各常任委員会正副委員長の合計12名が出席し、「安心して市民が暮らせるまちづくり」をテーマに、高齢者に対する福祉施策や過疎・限界集落の現状及び支援策をはじめとして幅広い分野にわたり意見交換をしました。

議会用語解説

意見書

意見書とは、地方公共団体の公益に関して、議会がその意思を意見としてまとめた文書のことです。

議会は、意見書を国会又は関係行政庁に提出することができます。（地方自治法第99条）

「全国森林環境税」の創設に関する意見書を可決

9月定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は、『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や林業活性化を中心とした地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

議 会 活 動 日 誌

8月

【30日】 議会運営委員会

9月

【5日】 本会議（1日目）、新庁舎整備特別委員会
 【14日】 本会議（2日目）、議会運営委員会
 【15日】 本会議（3日目）、議会運営委員会
 【19日】 本会議（4日目）
 【20日】 産業建設委員会、文教厚生委員会
 【21日】 総務企画委員会
 【28日】 本会議（5日目）、議会運営委員会、
 総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員
 会、広報委員会、新庁舎整備特別委員会

10月

【2日】 新庁舎整備特別委員会
 【5日、6日】 産業建設委員会
 【10日、11日】 文教厚生委員会
 【12日】 総務企画委員会、広報委員会
 【13日】 総務企画委員会

市議会本会議の会議録や録画映像は
インターネットからご覧いただけます

田辺市ホームページを検索

田辺市議会をクリック

次のご覧になりたい項目をクリック

会議録検索

議会録画配信

閲覧・検索

録画映像

ご覧になりたい本会議開催日等を選択

- 田辺市ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/>
- 田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.htm>
 ※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>
- 議会録画配信ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内
容等について、ご意見・ご質問等が
ありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本
会議会議録、録画映像をご覧いただ
けるほか、声の議会だよりの利用いた
だけます。

【連絡先】

田辺市議会事務局
 〒646-8545
 田辺市新屋敷町1番地
 TEL 0739-26-9940（直通）
 FAX 0739-25-5579
 E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だよりの」

2月号

（12月定例会の報告）



平成29年12月定例会の会期日程（予定）

12月定例会の会期日程（案）をお知らせします。

なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入
りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い
合わせください。

月	日	会議の内容
11	29	本会議1日目（補正予算等関係議案の提案説明）
12	8	本会議2日目（一般質問）
	11	本会議3日目（一般質問）
	12	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑 及び委員会付託）
	13・14	常任委員会（補正予算等関係議案審査）
	15	特別委員会
	20	本会議5日目（補正予算等関係議案に係る委 員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、11月29日及び12月20日が午後1時、
それ以外は午前10時です。

広報委員会
 委員長 安達 幸治
 副委員長 福栄 浩義
 委員 前田 佳世
 出 水 豊数
 塚 寿彦
 二 昌彦
 葉 智史
 橋 佳世
 前 浩義
 田 幸治
 福 幸治
 栄 幸治
 安 幸治
 達 幸治
 幸 幸治
 治 幸治

秋の運動会が終わり、
 ちやうど一週間、お祭り
 があつた。そんな中、最
 りよく、お祭り、お祭り
 の、お祭り、お祭り、お
 の、お祭り、お祭り、お
 営、お祭り、お祭り、お
 人口の減少や高齢化、
 少子化等の影響など、地
 りにより、お祭り、お祭
 意、お祭り、お祭り、お
 た、お祭り、お祭り、お
 文化、お祭り、お祭り、
 なら、お祭り、お祭り、
 運動、お祭り、お祭り、
 子、お祭り、お祭り、お
 姿、お祭り、お祭り、お
 選、お祭り、お祭り、お
 の、お祭り、お祭り、お
 せ、お祭り、お祭り、お
 様の、お祭り、お祭り、
 て、お祭り、お祭り、お
 と、お祭り、お祭り、お
 く、お祭り、お祭り、お

編集後記

